

## 会員各位

平成31年1月9日  
春日部市歩こう会会長  
(担当：今村、加藤、福田、蔵元)

### 「岩槻史跡巡りウォーキング」のご案内

岩槻の中心部は4月のお花見ウォーキングの時に歩いたので、少し離れた古刹「慈恩寺」と三蔵法師の霊骨を納めた「玄奘三蔵霊骨塔」を回ります。

今回は、慈恩寺の境内で昼食を撮らせていただけるので、**ご朱印をご希望の方は、昼休みの60分間のうちに、各自ご朱印帳をご持参の上、寺務所をお願いしてください。**

#### 記

期 日：平成31年2月4日(月) (雨天翌日順延)

目的地：岩槻慈恩寺～玄奘三蔵霊骨塔

集合場所：東岩槻北口前広場

集合時間：午前 10:00

参加費：無料 但し、体験参加者 400円

行程：約 5.5km 9班から出発

東岩槻駅→岩槻諏訪公園→慈恩寺(昼食)→玄奘三蔵霊骨塔→豊春駅

持参物：弁当、飲料(アルコールは不可)、敷物、雨具(カサは不可)、健康保険証、その他必要と思われるもの(防寒具など)

問合せ先：寺嶋(735-7990)まで

#### 【東武野田線時刻表】

※春日部駅までの  
アクセスは、各自  
お調べください。

行き先	春日部駅発	八木崎駅発	豊春駅発	東岩槻駅着
大宮行	9:46	9:48	9:50	9:52
大宮行	9:35	9:37	9:39	9:41
大宮行	9:23	9:25	9:27	9:29



慈恩寺 華林山最上院ともいい、天長元年(824)に慈覚大師によって開かれた天台宗の古刹です。江戸時代には徳川家康から寺領 100 石を拝領していたこともあり、坂東三十三ヶ所観音霊場の十二番札所でもあることから、今も境内は参拝や観光に訪れる人々で賑わっています。

#### 玄奘三蔵霊骨塔(境内の十三重霊骨塔)

昭和 17 年 12 月、日本軍が南京に神社を建立しようとしていた時に発見された石棺に記されていたことから、宋の天聖 5 年(1027)に三蔵法師の頂骨が長安から南京にもたらされたことが確認されました。

発見の翌年、仏像・銀・錫製の箱等の副葬品と共に南京政府に還付された頂骨は、翌昭和 19 年には南京玄武山に完成した玄奘塔に納められ、盛大な式典が行われましたが、その際、「日中の仏教徒が永遠に法師の遺徳を大切にしよう」という趣旨で分骨され、霊骨が日本にもたらされることになりました。

来日した霊骨は当初、東京芝の増上寺に安置されましたが、空襲を避けるため、一時は蕨市三学院に仮安置されました。その後、東京に近い三学院からの疎開先を「慈恩寺」として仮奉安することになりました。「慈恩寺」が平安時代に慈覚大師の開基であり、三蔵法師ゆかりの長安の大慈恩寺からその名をとって名付けられた由来もあり、歴史と格式のある寺院だったことがその理由と考えられます。

終戦後の昭和 21 年 12 月の霊骨奉安 3 周年記念法要の際、「霊骨は返還に及ばないこと、むしろ日中提携は文化の交流にあり、日本における三蔵法師の遺徳の顕彰は誠によるこばしいことであり、しかも、奉安の地が法師と何等かの因縁の地であるからは、この地を顕彰の場と定めては」との蒋介石主席の意向が伝えられたことから、正式に慈恩寺の地に霊骨塔建設が決定し、昭和 25 年 2 月、塔の礎石を据え終わり、納骨式を挙行されました。(「華林山慈恩寺」のHPからの抜粋)